



母校改築、来年度着工へ



かねて計画されていた母校の改築計画が、都の財政難などの理由から1年遅れで来年から着工されます。昨年度の「きずな」でも概要をお知らせしましたが、建築パース図なども完成し、いよいよ具体的なイメージが姿を現してきました。【2ページにも関連写真があります】

石神井高校同窓会誌
「きずな」第53号
平成16年5月発行
発行：
都立石神井高等学校
同窓会広報委員会

きずな53号 主な記事

三浦雄一郎氏講演会が開催されます。
同窓会規約が一部改定されました。
今年と同窓会総会・懇親会の時間が変更になります。
来年取り壊される旧校舎の写真が掲載しました。
十三ページに関連記事
十四ページに関連記事
十五ページに関連記事

今年と同窓会総会・懇親会は6月26日土曜日開催されます。

※今年には三浦雄一郎氏講演会などの都合により、開催時間が例年と異なりますのでご注意ください。



三浦雄一郎氏来る!!

国際的に活躍されているプロスキーヤーの三浦雄一郎氏の講演会が、6/26の同窓会総会・懇親会当日に開催されます。入場無料ですので、ふるってご参加ください。【13Pへ】

当日の予定

同窓会総会	13:00より	母校会議室
三浦氏講演会	15:30より	母校体育館
同窓会懇親会	17:00より	母校多目的室

同窓会費をお願いします

「きずな51号」から、同封の同窓会費の払込書が、コンビニエンスストアで支払いができる形式に変更されました。これにより多くの方がコンビニ経由で会費をお支払いいただくことができました。会費は今年も従来通り2,000円です。郵便局でもお振り込みいただけますので、御協力をお願いします。

ご注意

* 振込用紙での住所の変更ができなくなりました。ご面倒ですが、裏面記載の宛先に住所変更をお届けください。
* 51回卒業生のみなさん、今年から同窓会費を納入する世代になりました。今年から振込用紙を同封いたしますので、会費(年2,000円)の払い込みをお願いいたします。



- 本校正面の完成予想図(写真上)
 - 中央ホール(写真左)
- ※外国のハイスクールみたいですねえ・・・



今年卒業の五十六期生有志が

今の校舎をタイル画にしました

石井 洋子 (旧姓・榊 二十七回)

彼らは入学して二年たった頃、卒業と同時に改築があることを知りました。予算の関係で十七年度から延期になりましたが……
彼らはあの古びたA/C棟をとても愛していて、自分たちがあの校舎のまま卒業することを喜びました。しかしながら、数年後に石神井高校がまったく姿を変えてしまうことを残念に思い、卒業制作としてあの校舎を残すことを決めたのです。

有志を募り、教職員に相談して『お金は出さない。出来がよければ新校舎に飾れるかもしれない。』という返事ももらいました。タイル業者にツテのある保護者の協力の下、先生方に『期待以上の出来ですね！』と言っていただける作品を仕上げました。いまや石神井のシンボルのように扱われながら、取り壊しをまぬがれない過去の卒業制作(B棟のタイル画をとり入れたデザイン)です。

卒業当日は体育館の入り口に飾っていたのですが、人の陰になり気づいた人は少なかったようです。

実際に新校舎に飾ってもらえるかは、その時になってみないとわかりませんが、あの校舎に思い入れを持つ同窓生の後押しで、新校舎のシンボルとなつたらいいと思います。

石神井高校がCM出演！



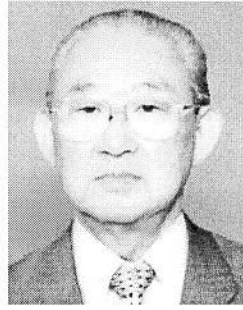
石神井高校の校舎がサントリー(株)のテレビCMに登場しています。同社の飲料水CMの最新バージョンなので、現在もオンエア中のはずですが、放送を探さなくてもインターネットで映像を見ることができます。ご希望の方は、<http://www.suntory.co.jp/softdrink/aminoshiki/page4.html>

「石神井精神の発露」

石神井高校同窓会会長 林 弘

本年は、年初から天候が不順模様でしたが、会員の皆さまにおかれては、「清菜のことと拝察し、お慶び申し上げます。」

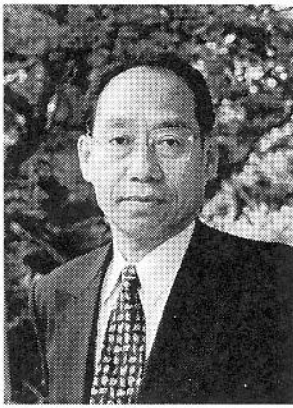
都立高校改革推進計画が実施されている中で、本校単独の後者改革が進められていることは、まことに「同慶の至りです。さらに東京都は、去る四月八日に東京の教育が目指す十二の方向と三十三の提言からなる「東京都教育ビジョン」を策定



したとのこと
です。このビ
ジョンが高校
教育の場でど
のような形で
取り込まれて
来るのか、そ

「改築雑感」

同窓会名誉会長（母校校長）
小林 和夫



同窓会員の皆様におかれましては、日頃より母校に温かい支援と協力を賜りまして誠にありがとうございます。本来であれば、校庭にフレックスマテリアルを仮設校舎が建築

の動向を見守る必要があるのではないかと感じます。

「ゆとり教育」から「学びのすすめ」と文部科学省も言うところですが、本校の英語授業の様子が「ジャパンタイムズ」に写真入りで掲載されたため、本校正門と校舎の一部が民放のコーマシヤルの画面に登場したことなどの最近のトピックスにより、母校に対する同窓生の関心が高められたことと思

います。
一般に、卒業生は同期会には顔を出すが、同窓会にはそれ程の関心を持たないものであります。学校を出れば、人それぞれ自分の人生を歩んでいくことになり、母校が遠い存在になり、同窓会に無関心になってしまふのは、ある意味で仕方のないことでもあります。つまり、同窓会に対する同窓生の気持ちには個人差があるわけですが、年齢を重ね人生経験を積んでいくうちに、自ずとその気持ちに変化が生じてくるものであります。

が遅れることとなりました。基本設計、実施設計はすでに終了し、完成予想図、模型などが校長室にできあがっております。今年は来年度仮設校舎の異動の準備期間となります。仮設校舎のスペースが狭く、処分する物など、整理に大変苦慮しているところです。

改築に伴う心配事の二つは、本校入学選抜における応募者数の減少が予想されることです。今までの改築校を見てきても、いずれの学校も同様の結果が現れています。その対応策として、本校PTA委員会を中心に、近隣の中学校を始め、多くの中学校に対して、学校訪問を行ったり、また中学生・保護者の学校訪問に対して、全教員で誠意ある対応をいたしました。昨年七月の学校見学会においては、前年度の二倍にあたる約九百名の中学生保護者が出席するなど大変な盛況でした。今年三月の入学選抜における、応募状況は昨年度よりも〇・〇九ポイント減少した程度でした。近隣の

本校の同窓会は二万六千名を超える会員を擁し、これらの会員は、産業界、学会、官界、芸術・芸能界、その他の分野で多彩な活躍をされております。そこで、同窓生同士「きずな」で結ばれているので、すから、もう少し活発な相互交流を心掛けては如何かと思ひます。

同窓生各位が活躍されている多くの分野で「マン・マシン」問題という課題があります。技術で人間性がどう関わっているかと言ふ問題です。仕事は人間の意志であるものだから、職種、職場、職域が異なっても人間としての「心」は変わらないということでしょう。昔、私は訪問先のある職場で、つぎのような掲げを目にしました。

- 一 世の中で一番「きずな」といふ書き出しで、
- 一 楽しく立派なことは、一生涯を貫く仕事を
- 二 持つこと
- 二 惨めなことは、人間として教養のないこと
- 三 淋しいことは、する仕事のないこと

中学校長からは、「石神井高校を希望する中学生は改築のよけはあまり気にしてないよ。たこの報告を受けましたが、今年度も受験生の確保に努力を参りたいと思ひます。

改築に伴うもう一つの悩みは、本校の特色である、運動部の活動が制限され、学校外の施設を利用しなくてはならなくなる事です。東京都利用費の補助を要請しているところですが、部活動に対しては補助が得られずに苦慮してましたところ、同窓会より援助していただけたとの連絡をいただき、感謝と共に厚く御礼申し上げます。改築期間中であっても、本校の伝統、特色である文武両道を活かすために、学習面はもちろんです。学校行事や部活動にも、最善の努力を払っていただくことを中学生も保護者にアピールしていきたいと思ひます。今後とも、母校の物心両面の支援をお願い申し上げます。

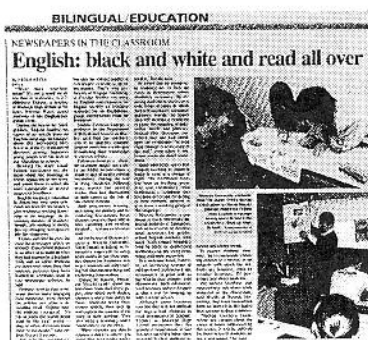
四 醜いことは、他人の生活を羨むこと
五 尊いことは、人の為に奉仕して決して恩を
きせないこと

六 美しいことは、全まてのものに愛情をもつこと
七 悲しいことは、嘘をつくこと
この七か条は福沢諭吉が心訓としていたものと言われています。よりよい人間関係を保つにも、このような先人の教えを念頭において日々努めることが肝要であります。

以前にも、この「きずな」に載せたことがありますが、本校初代の丸山校長の言われた「石神井精神」すなわち「石のような意志の強い、神のような崇高な心を持ち、井戸のような深みのある人間になるよう志せ」を同窓生は心得ていただきたいと存じます。

会員各位におかれましては、従前にも増して、ご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

母校の英語授業が
The Japan Times で紹介されました。



母校の田島教諭の英字新聞を使った授業が、二月十二日の英字新聞ジャパンタイムズで紹介されました。下の写真が本校

東京都立石神井高等学校同窓会規約

(平成15年12月6日一部変更施行)

(名称)

第1条 この同窓会は、東京都立石神井高等学校同窓会(以下「**本会**」)と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員の親睦と連携を図り、もって東京都立石神井高等学校(以下「**母校**」)というの発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

1. 広報誌(きずな)の発行
2. 会員名簿の作成・発行
3. 同期会、クラス会および各クラブ・同好会のOB会などへの支援
4. 「父母と教師の会」との意見交換および相互の協力
5. 講演会、懇親会、行事等の企画運営
6. 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事業

(事務所)

第4条 本会は、事務所を母校(東京都練馬区)に置く。ただし、事業遂行のために必要な事務は、母校以外の場所において行うことができるものとする。

(会員)

第5条 本会は、次に掲げる者を会員とする。

1. 母校ならびに東京都立石神井中学校(旧制中学)の卒業生およびこれらの学校に在籍したことのある者のうち本会へ入会を希望した者(以下これらの者を「**通常会員**」という)
2. 現に母校の教職員である者および過去に教職員であった者(以下これらの者を「**特別会員**」という)

(会員の権利義務)

第6条 会員は本会の事業活動につき、その便宜を受ける権利を有するとともに、この規約および総会の決議に従う義務を負う。

(入会手続および入会金)

第7条 通常会員は、入会に際して別に定める手続を経て、入会金を納入するものとする。ただし、平成15年12月6日現在で通常会員である者は、入会手続を完了したとみなす。

(会費)

第8条 通常会員は、総会決議の定めるところにより、会費を納入するものとする。

(役員の種類および人数)

第9条 本会に次の役員を置く。

1. 名誉会長 1名
2. 会長 1名
3. 副会長 5名以内
4. 書記 3名以内
5. 会計監査 3名以内

(役員を選挙)

第10条 役員を選挙は、次のとおりとする。

1. 名誉会長に、母校の校長が就任する。
2. 会長、副会長、会計、書記、会計監査は、通常会員の中から総会において選任する。

(役員職務)

第11条 役員職務は、次のとおりとする。

1. 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ役員会で定めた順序に従い、その職務を代行する。
3. 会計は、会長の指示により本会の管理をする。
4. 書記は、本会の諸通知、記録および資料保存等の事務を担当する。

5. 会計監査は、本会の会計を監査する。

(役員任期)

第12条 役員任期は、名誉会長を除き2年とする。ただし、再任を妨げない。

(役員会)

第13条 役員会は、会長、副会長、会計、書記、会計監査をもって組織し、会長が必要と認めたとときに、これを開催する。

(役員会職務)

第14条 役員会は、この規約に別段の定めがあるもののほか、次に掲げる事項を決議する。

1. 総会に付議する事項
2. この規約の変更に関する事項
3. 総会において、役員会に委任された事項
4. 前各号に掲げたもののほか、本会の運営に関して会長が必要と認められた事項

(幹事および幹事会)

第15条 通常会員は、卒業年次別原則として2名の幹事を選任し、会長へ届け出るものとする。幹事は、その卒業年次の同期会、クラス会等の開催に尽力する。幹事は、幹事会を組織し、本会の運営に関する問題を審議するとともに、役員会へ出席し意見を述べることができる。幹事会内規、規則を定める。

(参加)

第16条 本会に参加を置くことができる。参加特別会員の対から会長がこれを委嘱する。参加は、本会の重要問題の審議に参加し意見を述べることができる。

(顧問)

第17条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、選代会長および役員会が承認した者とし、会長がこれを委嘱する。顧問は、会長の諮問に応じ、意見を述べることができる。

(総会)

第18条 総会は、定期総会と臨時総会とに区別する。定期総会は、毎年度終了後3ヶ月以内に開催する。臨時総会は、会長が必要と認めたととき、役員会の承認を得て、これを開催することができる。

(総会の付議事項)

第19条 総会は、この規約に別段の定めがあるもののほか、次に掲げる事項を決議する。

1. この規約の改定
2. 事業報告および事業計画案
3. 収支決算および収支予算
4. その他特に重要な事項

(総会の決議)

第20条 総会の議事は、出席した会員の過半数をもってこれを決する。

(経費)

第21条 本会の経費は、入会金、会費、寄付金その他の収入をもってこれに充てる。

(事業年度)

第22条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(細則)

第23条 この規約の施行に必要な細則は、役員会の決議を得て会長が別に定める。

付則 この規約の変更は、平成15年12月6日から施行する。

定期総会開催のお知らせ

記

日時 平成16年6月26日(土) 午後1:00より

場所 母校会議室

議事 第一号議案 平成15年度事業報告
 第二号議案 同上の会計収支決算報告及び会計監査報告
 第三号議案 平成16年度事業計画案
 第四号議案 同上の会計予算案

同窓会規約第18条にもとづき平成16年度定期総会を下記のとおりに開催しますので、召集いたします。

平成16年5月吉日 同窓会会長 林 弘

平成15年(2003年)度決算報告書

収入の部	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度予算	平成15年度実績	対予算実績	対前年度実績増減	備 考
繰越金	311,769	429,709	440,408	364,142	264,142	▲100,000	▲176,266	
入会費	1,414,939	1,449,370	1,424,370	1,379,370	1,379,370	0	▲45,000	H15年度卒業生分 276人
年会費	4,436,080	4,193,810	3,754,960	3,600,000	4,060,270	460,270	▲305,310	郵便振替1548件、コンビニ530件
雑収入	392,532	161,319	197,963	125,000	174,385	49,385	▲23,578	
合 計	6,555,320	6,234,208	5,817,701	5,468,512	5,878,167	409,655	60,496	
支出の部	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度予算	平成15年度実績	対予算実績	対前年度実績増減	備 考
運営基金積立補入	500,000	0	0	0	0	0	0	
総会費	1,295,310	867,328	633,882	500,000	529,606	29,606	▲104,276	総会時報関係、石炭&バンド 寸志
本部費	100,810	292,897	210,278	230,000	208,072	▲21,928	▲2,206	黒森山荘関係
幹事会費	25,600	58,037	50,060	50,000	50,000	0	▲50,000	幹事会費返付
広報費	1,547,267	1,606,086	1,590,874	1,600,000	1,655,515	55,515	▲55,641	きずな52号、印刷代、PROX
送達費	1,797,191	1,878,513	2,043,695	2,000,000	1,972,452	▲27,548	▲71,143	きずな送達費(15685部)
行事費	259,433	224,464	261,698	200,000	218,510	18,510	▲43,188	校歌祭参加費(10/5)
山荘費	600,000	600,000	600,000	500,000	500,000	0	▲100,000	H15年度助成金
新会員	0	0	118,786	120,000	111,720	▲8,280	▲7,066	新入生入会祝い(13年度は予備費から)
高校援助	0	0	0	100,000	20,000	▲80,000	▲20,000	H15年度助成金
予備費	0	146,475	35,386	118,512	0	▲118,512	▲35,386	吹奏楽部コントロール 金賞祝い
合 計	6,125,611	5,793,800	5,553,559	5,368,512	5,215,875	▲152,637	▲337,684	

繰越金額 429,709 440,408 264,142 100,000 662,292 562,292 398,150

・平成15年度 運営基金残高 15,436,058 円

上記の通り、平成15年度 会計収支を決算し報告します。

会 計 橋本明弘 川鍋 洋子

上記の会計収支決算を監査した結果、適正であることを認めます。

会計監査 川口 弘 森 雅 夫

平成15年(2003年)度 黒森山荘会計報告書

収入の部	金額	備 考
同窓会よりの助成金	500,000	
PTAよりの校外施設費補助	300,000	
黒森山荘 利用料	311,000	宿泊延数 225日分
雑収入	51,667	黒森山荘 職員積立金積算金戻入 他
合 計	1,162,667	

支出の部	金額	備 考
通信費	150,000	車中券、特急券、高速道路料
道 光 熱 費	41,157	郵送代、郵便料
燃料費	135,957	電気、水道、プロパン代
月例会費	30,595	山寮協議会、山寮協議会親会費
総会費	5,000	山寮協議会年会費
修繕費	22,270	設備関係補修費
備品費	60,742	什器備品、鍋、蓋代
借地料	150,000	朝八方療園会
雑費	183,413	山荘管理費、保険料、ゴミ処理代 他
合 計	779,134	

次 期 繰 越 金 383,533
 繰越金積立分 残高 834,874

平成16年(2004年)度 予算書(案)

収入の部	平成15年度実績	平成16年度予算案	平成15年度実績との差
繰越金	264,142	662,292	398,150
入会費	1,379,370	1,330,000	▲49,370
年会費	4,060,270	4,000,000	▲60,270
雑収入	174,385	100,000	▲74,385
合 計	5,878,167	6,092,292	214,125
支出の部	平成15年度実績	平成16年度予算案	平成15年度実績との差
総会費	529,606	930,000	400,394
本部費	208,072	230,000	21,928
広報費	1,655,515	1,650,000	▲5,515
送達費	1,972,452	2,000,000	▲27,548
行事費	218,510	220,000	1,490
山荘費	500,000	500,000	0
新会員	111,720	120,000	8,280
高校援助	20,000	150,000	130,000
予備費	0	100,000	100,000
合 計	5,215,875	5,900,000	684,125
繰越金額	662,292	192,292	▲470,000

同窓会規約の一部変更について

会長 林 弘

平成十五年十二月六日開催の臨時総会において、本会規約の一部変更が決議され、同日から施行されましたので、お知らせいたします。規約の一部変更の理由および主な変更点は以下の通りです(変更後の規約前文は後掲)。

一、変更の理由

最近、中間法人や、NPO(特定非営利活動法人)の活動が注目されるようになり、その法的な位置付けが問題視される中で、同窓会のような組織にも法人格の付与が議論される方向にある。一方、東京都教育庁からの事務連絡により、同窓会への入会においては、個々に書面による入会意志の確認が求められている。ついでに、これらの事態に対応できるように、現行規約を見直し、最小限の変更を講ずる必要がある。

二、主な変更点

- ① 条文の配列は「公益法人定款例」にならない、「名称」「目的」「事情」「事務所」：とし、各条番号の頭部に括弧書きで標題を付すとともに、規定の表現方法も、上記「定款例」の文体に準拠した。
- ② 第3条の「事情」では、実態に沿って具体的な項目を列挙した。
- ③ 第5条の「会員」の要件においては、中途退学者も「同窓」であることから、「これに準ずる者」という現行の表現を廃止した。
- ④ 第7条で、今後の新入会員については、文書による入会意志の確認が求められることに備え、「入会に

際して別に定める手続を経て」の文言を加えた。

- ⑤ 第9条の「役員の数」では、その職名ごとの上限人数を明記した。
- ⑥ 第13条および第14条を新設し、同窓会の重要な機関である「役員会」の構成要件、機能を明記した。
- ⑦ 第15条で、「委員」「委員会」と「幹事」「幹事会」の関係を明確にするため、各卒業期の「幹事」を規約の中に取り込むこととした。
- ⑧ 第16条で「参与」に関する条項を新設した。従来、参与は役員としていたが、執行機関である役員とは性格の異なる点があるので、分離し独立の規定とした。
- ⑨ 第23条を新設し、「細則」の決定権限を役員会および会長に委ねることを明記した。
- ⑩ 規約全般にわたり、分かりにくい表現、曖昧な規定等を修正した。

以上

お便り



お寄せいただいた原稿を中心に構成しています。

「米二合」

佐藤 健 (高校三回)

その先生の仇名は「ロボット」。そう、古い卒業生ならご存知の石木誠一先生である。長身かつ頑固そうな体型の歩く姿から、この名が付けられた。昔の中学生、高校生は、先生の特長を捉えてニックネームを付けるのが得意である。シャケ、カバ、ホース、エテプル、ライオンを始めとして、ベチャ、マー坊、エロ河童、ホッケ、オヒョウなんというのもあった。こうみると、当時の職員室は実に多彩であったことが分かる。今、現役の先生方にはどんな仇名がついているのだろうか。

石木先生は、卒業時の担任であるから、私も進学問題などでお世話になったはずである。しかし、特に優秀でもなく、際立つて悪くもない平凡な生徒であったから、先生には私の印象は残らなかったようである。

今でも私が鮮明に記憶していることは雪合戦の光景である。卒業の年の冬、雪が降り校庭にかなり積もったことがある。誰の発案だか知らないが、クラス全員で雪合戦に興じた。ロボットは大きくて絶好の目標だから、我々は石木先生に砲火を集中した。あまり激しく雪だるまが飛んで来るので、先生も段々本気になり、遂には我々に接近戦を挑んでくれた。ロボットに追いかけられること程怖いことはない。私も最後は懸命に逃げ回ったもの

である。

当時も与太った生徒は大勢いた。時には、先生のグローブのようなでかい手で、ピンタを食らった者もいたから、一般的には近寄りにくい先生であったと思われる。ところが、私は最近になって、先生の隠れた一面を知ることができた。それは、先年の同期会の時のことであった。

昔話に花が咲いた時、A君がロボットから米を買ったという話を始めた。戦後、昭和二十一年、二年の頃の食糧不足は酷いもので、都会地では主食の米がなく、学校へ持っていく弁当が、ふかした薩摩芋なら上等といわれた時期であった。A君は、そういうものさえ持つてくるのができなかったという。ひもじい思いをしているとき、石木先生にそっと呼ばれた。先生は、「君は弁当を持って来ないならいい。腹が減ることだろう。幸い私には故郷があつて多少の米はある。少しだけこれを炊いてもらえ」と言われて、二合ほどの米を袋に入れて手渡してくれたというのである。あの時、母親がどんなに喜んだか、何よりもそのご飯の美味かったことが今でも忘れられないよ、とA君は述懐する。飽食の時代といわれる今となつては、想像を絶するような食糧難であった。草根木皮というけれど、誰もが、まさに野草まで捜し歩いて食用にした時代である。石木先生から戴いた二合の米はA君の一家にとつては天からの恵み物であつたらう。どんなに嬉しかったことか、それをも思ふと私もつい目頭が熱くなるのを感じた。同時に、あの頃周囲にそういう友人のいることに気がつかず、何の思いも持たなかつた自分の迂闊さに恥じ入つたのである。

A君は、それからの半世紀以上の歳月の中で、この時の米二合の味を忘れずにいた。そしてそのことが、彼の人間形成に大きな影響を与えたに違いないと思う。教育とは単に知

識や技能を授けるだけのものではない。いろいろな状況にに応じて、人としての心を育てることこそ教育の本質である。そして、それが出来るのは「先生」を措いて他にないのだ。

姉と私の高校時代

鈴木陽子 (高校二十八回)

私は、石神井高校時代、バスケット部に所属し、姉は合唱部でした。一つちがいで同じ高校に通う姉妹でした。もう三〇年ほど前のことですが、ついこの間のような気がします。私は、現在、日本航空(株)で国際客室乗務員をしています。気がつくくと飛行機の中で、動き回っているような生活をはじめ、もう二十数年になりました。時差があり、深夜の長時間労働、おまけに低酸素・低湿度・低気圧(富士山の七合目と同じような環境)というような飛行機の客室での肉體労働は、決して楽とは言えませんが、こうして四〇歳を過ぎた今も続けられるのは、石神井高校時代、バスケット部で鍛えていただいたおかげなのだと思つて感謝しています。

菅平高原での夏合宿、体育館の中で、最高心拍数を超えるほど、ハアハア言いながら走り回つたスリーメンダッシュ。本当に苦しくて厳しい合宿だったけれど、知らないうちに私の体力が作られていたのだと思います。バスケット部のOB・OGのみなさん、川島先生、本当にご指導ありがとうございました。これからも、この体力と気合で、客室の中を動き回りながら、がんばります。

姉は、現在イタリア人と結婚して、ローマに住んで二十数年になります。石神井高校時代、合唱部で歌い始めたのがきっかけとなり、音楽の道を志して、芸大音楽科を卒業してすぐ、ミラノ・スカラ座の研修生となり、演技・バレエ・歌曲など研鑽を積み、一九八



五年より、多くの国際声楽コンクールで優勝・入賞しました。バルセロナのバタフライコン

クールでは優勝し、一九八七年スペインで蝶々夫人の役でオペラデビューしました。以後、オペラ・歌曲・宗教曲等、国際的に数多くの舞台で活躍しています。ピアノリストの夫(レーム・ブスキ)との歌曲のコンサートでは、日本歌曲を含め多彩なプログラムで、好評を得ています。又、数多くのチャリティーコンサート等にも意欲的に取り組んでいるところです。先日フライトでローマへ行つたとき、久しぶりに姉の歌を聴くことができました。姉が専属ソリストを務めているサン・ジュゼッペ・フアレニヤミ教会で、結婚式がありました。心あたたまる賛美歌、アペマリア、物悲しいアルビノーニのアダージョ、バッハのカンタータなど、オルガンの荘厳な音と美しい歌声に包まれ、新郎・新婦が永遠の愛を誓い、列席者は、喜びと感動で涙していました。私は、久しぶりに、姉の歌声を聴いて、是非日本でも歌ってほしいなあと思えました。姉を愛している人達、姉が愛している人達が、たくさんいるうちに……。私の当面の目標は、姉が歌う演奏会を、日本で企画し、実行することです。私は、今までに一度も、そのような経験をしたことがないので、できるかどうか不安ですが、いろいろな方に相談し、助けていただきながら実現したいと思つているところです。もし協力していただける方がいらつしやいましたら、是非一報ください。

私の連絡先の電話番号

03・3853・7906

癌との戦い

田村典夫（中学二回）

「病は気から」と古へより良くいわれているこの言葉は、誠にその通りであろうと思われ。駄目かな駄目かな、とばかり考え込んで生きて行けぬであろう。

微笑と闘志を持ってこそ、生き甲斐と楽しさが湧き出てくるのではなからうか。不肖筆者は、少なくともそのような信念を大切にしている。

陸上競技を原点とする、あらゆるスポーツは、負けてたまるか、との精神あつてこそ、勝利につながるのである。勝たなくては、勝たなくてはとばかり考えていると隙間だらけになると信ずる。

人生は静と動とが一体となつてこそ、爽やかに生きて行けるのではないだろうか！これは私の信条である。人生は常に必ず、相手の立場を考えねば前進できぬであろう。山もスキーも総て全体を眺め学び一歩々々歩めばこそ、粹然と聳える富士の高嶺に立つことが出来る。そして降りるときも更なる工夫が必要となり、花香る下界へ戻り、無事に目的の達成を果たすのである。

筆者は八年前に胃癌で胃を四分の三除去したにもかかわらず、健康体で通ってきた。多くの方から癌になる前と全く変わらぬ程に、よく食べ良く呑み良く走り、良く歩くといわれてきたが、本年三月に手術を行った。

三月八日に手術をし、四月十日に退院いたし、今年も前回と同様、快調にて医師の許可も得、四月二十七日から蔵王連峰の温泉旅行を楽しんできた。

結させ、腹を閉じるといふ大がかりなもので、病院始まって以来の大手術といわれ手術には九時間を要した。

平成十六年五月九日の石神井校の同窓会役員会に参席させていただいた折には、手術を委員諸氏に信じて貰えないほどの健康を回復している。

癌の兆候ではなからうかと自分なりに判断したのは、便通の色や排尿の色だった。食欲、食事の嗜好などに些かでも異状を感じた時には、まさかと思つても医師に診察してもらうことが肝要と思われる。

好き嫌いなく、なんでも良く噛み、水分を多めにとり、腹筋を鍛えること。そして出来るだけクルマに乗ることを避け、さつさと歩くことは誠に大切である。また、仮にいかなる病にかかろうとも、笑顔を忘れぬよう、前向きになる事をお勧めしたい。

（参考までに筆者の食事）

①朝食（毎日）

牛乳コップ一杯、バナナ一本、焼海苔一枚、ラッキョウ三粒、チョコレート二切れ、抹茶一服。

②昼食または夕食（最低月に一から二回は食べたい）

赤貝、平目の縁側、サンマの薄塩焼、チャーシュー、玉葱、ブロッコリー、トマト、ピーマン、バターピーナッツ、柿の種、ワサビ、生姜・唐辛子をどこかにあしらう

米飯は一日に二から三杯（白米）
皆様のお役に立てば幸いと筆をとりました。

黒菱山荘 『恩師を囲む会』を開いて

城 和裕（高校十二回）

黒菱山荘で恩師を囲む会を開こうと思った

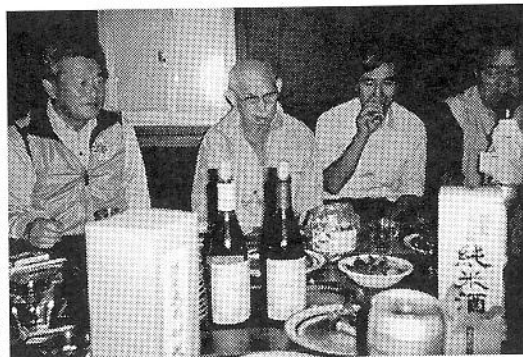
のは昨年大屋根の大改修が済んだ時だった。本来『きずな』に予告すべきだったが内諾を頂いた恩師が東先生であったので先生の帰京予定に合わせて九月二十七・二十八日を開催日に決定した。

先生にお世話になった百名近くの卒業生に案内が出せたのは八月の中旬であったので皆さんの返信が多かった。当日は八十六歳になられた東先生、対岳館の丸山庄司氏、スカラの石田君、他十二名の参加で実に楽しく意義のある会が山荘の広間で開かれた。

夜にはバーベキューとハヤシライス、朝は魚の焼き物と味噌汁、昼はおにぎりといったメニューで材料は東京で用意した。ご飯は炊くだけ、焼くだけ、食器は洗うだけの簡単メニューで三食を賄う事が出来、飲み物は参加者持参でこれも良いアイデアで楽しめた。東先生は我々在校時は水泳、スキー学校、サツカー部他色々とお世話になったが黒菱山荘誕生の経緯は、黒崎先生とお二人で対岳館の丸山与平氏と建設場所の決定、水場の事や、現役生の受け入れと大変なご苦労があったそう、その後、先生が大病をなさつて学校に戻られた時には先生は山荘の運営から外れてしまい無念な思いをされたと伺った。

そんな先生の久しぶりの来訪で一番喜ばれたのは丸山庄司氏で昔話に花が咲いてその晩、ご年齢を配慮して対岳館にお泊り戴いた先生は大変歓迎を受けられたそう。翌日、参加した仲間は石神井ケルンから八方池、唐松岳へと登つていき私は先生をお誘いして早めの帰京となったが何事も無く大成功だった。

来年は八月末から九月上旬を予定、恩師にも数名お声掛けして『きずな』で皆さんにお知らせしますので是非多数ご参集下さい。山荘に泊りきれない場合は対岳館やスカラに宿泊しましょう。山歩きをしたい人は山靴と寒くない服装、山荘だけの人はスニーカーでOK、車で相乗りが一番経済的で東京から高速道利用で四時間ぐらいで到着可能です。東先生からのご寄稿で述べられているように山荘は、今後我々の自分を磨く場所であり、クラブ活動の合宿の場であり、使い方は色々！他所の高校から羨ましがられるこの宝物を生かして使いたしましょう。今回は山荘利用料@二千元、+三食@三千元でセルフサービスでやりました。判らないことは090・3805・2632（城）へどうぞ！



本年も、「第二回恩師を囲む会」を開催します。詳細は10ページをご覧ください。
平成16年9月11・12日に開催予定です。

『黒菱でサッカー』

東 士（母校恩師）

昭和四十年のサッカー部、合宿練習が実施際に、やんどころない事情で中止せざるを得なくなった。その時、佐々木康夫主将（十九期）は、黒菱に行きたいと言いつつ、黒菱山荘で合宿訓練をした。（石神井高校蹴球部五十年史百八十九頁にある）

皆さんは“そんなところでサッカーの合宿練習したとて”と思うだろうが、そのチームがその年の高校総体（インターハイ）東京大会で決勝戦（対学習院）まで勝ち進み、延長戦まで戦いながら惜敗、東京代表権を取りそこない涙を流したチームなのである。

私はこの時“人は心構え次第で色々なことが出来るもの”を山荘を通して学びました。

黒菱山荘は、北アルプス山麓（八方尾根の中腹千五百メートル）に位置し、風光明媚、眺望絶佳で知られることから、遊山、観光の拠点と思われ勝ちですが、自主的に何かをやるうと思いついたものの研修の場所になることを紹介したいのです。

高校、大学で教えて貰っただけでは心細い、みっちり自分を磨き上げねば、と気が付いた諸君の道場にしてはと思うのです。

書物を開いて一人山荘に籠るもよし、楽器を携え、白馬、不帰の嶮もよく聴けよとばかり吹奏したり、八方池をにらんで座禅など、…己を磨くにはまたとない山

荘であることに気が付いてほしい。

又何人が示し合わせて、飲み、食い、歌う会もよし、喧々ガクガクの討論も又然りです。『私は、山荘が開設され、いよいよ生徒たちが利用するとなった時、水の問題で、OBの柄野君（十期）、奥沢君（十期）と対立、夜を徹して討論した。その後十年位は彼らの顔を見るのもいやだったが、今は笑顔で手を握り肩を抱き合う仲間となった。今振り返るとあの時、討論したことは、人生の宝物の思いがある。…山荘だからやれたんだ。…長野オリンピックで舗装道路も出来、山荘入口まで自動車で行ける。（かつて山道を三時間かけて歩いたことを思えば、天と地の違いがある）

他校には無い、石神井で学ぶ者の恵まれた施設、大いに利用すべしと思うのです。

黒菱山荘恩師を囲む会に参加して

渋谷紀美子（高校十二回）

平成十五年九月に城、酒井両氏の呼び掛けで東先生を始め私達恩師を囲む会の有志九名（内二名は奥様同伴で計十一名）は何年振りかで石神井山荘を訪れました。夕食時には後輩で麓でペンションを営んでいる石田氏そして親子二代で石神井山荘を管理して頂いている丸山庄司さんも加わり、盛大なパーティーとなり後半は山荘をどう守っていくかに話題が移り激戦になりました。皆さんがこれ程迄に山荘を愛しているのかと思えば胸が熱くなり

ました。そこで最後に皆で校歌や山の歌を大合唱して幕を閉じました。翌日は晴天に恵まれ私達は八方池を目指して歩き始めました。山本、下田両夫妻は八方池で引き返しましたが、酒井、渡辺両夫妻そして夏にスイスのマッターホルンの登頂を果たした長谷川氏と私の五名は唐松岳の頂上を目指し又歩き初め赤黄緑の三段紅葉と霧の立ち昇る山々を右に左に眺めつつとはいえ何年ぶりの登山に私は、フーフーヒーヒー皆さんの手助けの元やとと登頂し感激！でした。足腰の丈夫な内にまた訪れたいと思っております。来年も、皆さんも、ご一緒にいかがですか。

復刻版「山旅 黒崎 峻写真集」出版なる

石神井高校山岳部の顧問を長年にわたり務められた黒崎峻先生は、若き日（昭和28年～33年）に登った山々をカメラに納め、ご自分で焼き増して、アルバムに貼り、文章を添えてユニークな山岳写真集を創っていました。

このアルバムを多くの方々に見ていただきたいという昭子夫人の思いから、この山岳写真集を復刻することになりました。

アルバム復刻版製作は、ネガ探し、ネガのクリーニング、山名の特定などなど非常に困難な作業でしたが、山岳部OBで10回生の原義郎氏、同じく山岳部で12回生の田中忠夫氏をはじめとした山岳部OB面々の努力が実り、無事「山旅 黒崎 峻写真集」として発刊することができました。

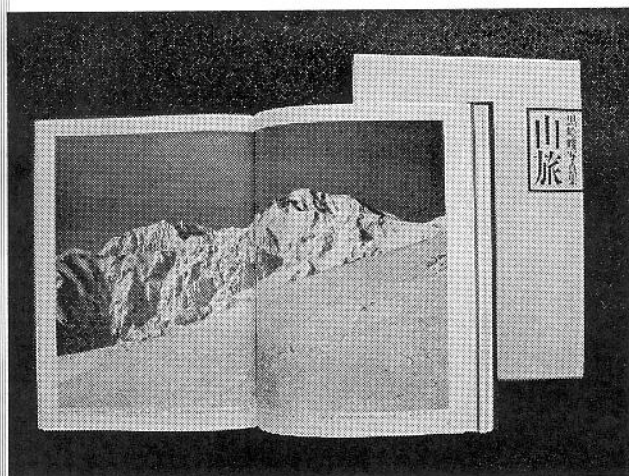
この「山旅」を手元において黒崎先生を偲びたいという同窓の皆様には昭子夫人が送料（1,000円）でお分けいたします。ご希望の方は下記にお申し込みください。

なお、送料以外の金銭は送らないようお願いいたします。万一、お送りの際はお花代として頂戴いたしますが、お礼状は省略させていただきますので、ご了承ください。

申し込み先

東京都東久留米市野火止3-14-10

黒崎昭子



石神井倶楽部の雑記ノートから

副会長 勝見鈴代 旧姓別所 高校20回)

石神井倶楽部って??ご存知ない方へご紹介しましょう!
12回卒業の城 和裕氏のご好意で、ご自身が経営するレストラン「あおしま」に設置していただきました。
クラス会、同期会の会場として色々な相談のつてくれます、また、同窓会懇親会のケータリング、住所変更等の連絡、その他同窓会の役員、幹事会の会議室として...

1995年〇月〇日 34回生 Y.Yさん
石神井高校サッカー部 万歳!!
7月9日に行われる、蹴球部50周年記念式典について、城社長を含め最終打ち合わせを行いました。当日のお料理をお願いする経過もあり、こちらに立ち寄らせていただきましたが、明るく、気取りのない店内、しかも食事も美味しくいただきました。
今まで、実質的にサッカー部のOB会が機能していなかったのを、これを機に活動を広げようとしているところです。(そろそろ、60周年?サッカー部OB会は広がっていますか?是非、同窓会とも連動してさらに活動をひろげましょう!ご連絡ください)

1995年〇月〇日 8回生 石神井イト会
同窓会準備で集まり、10月開催予定
主催 Y.Y, 共犯 T.T, M.N, M.N, Y.T
話題は、年金のはなしで終わり、石神井時代がなつかしい
TN氏...最近では孫の成長だけが楽しみです。但し若い女の子はもっと楽しみです。
1995年〇月〇日 19回生
同期会打ち合わせ
陸上部 H.I, 女子バレー K.O, バスケット A.Y
来年(1996)1/20開催を決定、卒業から30周年、そしてねずみ年。ほとんどが、年男と年女...そんなことで頑張ります。
桜吹雪の校庭で振り返ると16の私が微笑んで、私に手をふっている。まばたきすると、皆がずらっと立っている。
1999年〇月〇日 37期+36期で一す!
メンバー36期 T, 37期 O, E, N, Y
この秋(11/20予定)37期同期会をここでいまいす。よろしくお願ひします。

10年まえの同期会幹事のメンバーがまたたくらみ...
やっぱりいつまでたっても、石神井生は石神井生だなあ!
(その他、色々な落書きが...残念ながら掲載は??)
1999年〇月〇日 役員会に出席して 3回生 K.S
あの頃、学校の周辺はすべて麦畑、特に校門の前は、夏にはサツマイモ畑これをいたずら生徒が引き抜く。「キンちゃん」という農家のおじさんが追いかける。しまいには、キンちゃんに追いかけれなかった奴は一人前でなくなった。我々は、みんな一人前になりたくて、いもをぬすみに行った。昭和21年夏のことである。
(戦後間もない食料難の頃のお話ですね...もう学校の周りに畑なんてありません、長閑な風景と、見たことはないけれど「キンちゃん」の姿が浮びますね!)
1999年12月11日 第7回校歌際参加者の反省会兼役員幹事会忘年会
20回生 M.S (旧姓 K)
石神井校歌も唄え、今夏の黒菱(同窓会主宰の山荘ツアー)のお仲間とこうして初めて素敵な「あおしま」で、美味しいお食事で忘年会も出来て幸せです。卒業三十余年で、こうして石神井とご縁をもてたことに感謝しております。

30回生 K.K
特別企画黒菱山荘へ行こうが縁で、黒菱山荘、校歌際、「あおしま」が初体験!!再び青春が...同期会がやりたいのですが、皆、いっしょにまわっているところ。またきまーす!!
中2回生 N.T
微笑と闘志!!さわやかな楽しい同窓会を続けましょう!

2000年〇月〇日 39回生 H.M
会社が近所なのですが、初めて来て「石神井」(石神井倶楽部の看板)の名前をみて、おどろきました。また来ます。(会社の近所のお店に...母校の倶楽部が...驚きですね)

2000年〇月〇日 30回生 E.S
第30期生です。石神井及び黒菱山荘(黒菱山荘基金)の名前を見て驚きました。(初めて来店して、母校の名前...びっくりしますよね)
2001年〇月〇日 11回生 A.H
本日は第11期同期会の会場下見のため女房を連れて来ました。黒菱山荘やバラオの話まで出て、すっかり時間を過ぎてしまいました。城さんに石神井高校の同窓会の状況を聞き、第11期生は連絡不足ということもわかり、今後少しばかりお役に立ちたいと思います。(11月に開かれた同期会後、会費の残金を黒菱山荘基金に寄付していただきました。)

2001年〇月〇日
同窓会と父母と教師の会第1回の顔合わせ会
出席:同窓会12名、父母と教師の会6名
同窓会会長 林 弘(中2回生)
初の会合を持たせていただき、種々楽しい雰囲気でお話出来たこと感謝申し上げて居ります。
今後、年何回か時機をお打ち合わせの上機会を設けさせていただけたらと念じて居ります。
父母と教師の会
初めての試み、楽しい会合、皆様の熱い思いにふれ、石神井高校に子どもを通わせてよかったですと思いました。
3回 K.S
「石神井」は 我を支えし 母港なり
2001年〇月〇日 元職員 Y.K

久しぶりに「石神井高校」の風を感じました。50代の青春を過ごさせていただいた石神井高校に感謝しています。
2000年の夏休みに、唐松岳に登ることができ、黒菱山荘で楽しいひとときを過ごさせていただきました。60才を越えて、できたら毎年白馬の唐松岳に登りたいと願っていますが、何才までいけるでしょうか。
レストランあおしまに集う石神井高校につながる皆様がおしあわせでありますように。

2002年〇月〇日 17回生 T.O
17回生の同期会を開きました。
35名が2次会に集まり、大変楽しく過ごさせていただきました。
6月の同窓会、10月の校歌際に参加してもらうようお願いしました。
2002年〇月〇日 中4回、高1回の同期会 41名
恩師:手崎政男先生、寺島政一先生、高木四郎先生もご出席
世話人、事務局 1回生 T.M
一昨年の同期会後、15名の消息が判り案内状を出し、3名の出席があった。今回、この「あおしま」で、初めて同期会を開いたが、お店の方々も店長さん以下誠意のこもった準備とお世話を頂いた。
これからは、3月、6月、9月、12月の第一月曜日に気軽に集まる月曜会をやることにしたい。今回は、古屋先生(藤沢市)もお呼びしたい。

2002年〇月〇日 13回生同期会 Y.N
毎年やることで魅力半減?リストラの嵐で遊んでられない?などなどいろいろあって40名を切ったが、やはり同じ所であるというのはいいものだ。先生も、小池先生、春日先生、寺島先生の元気なお姿を拝見、安心しました。5時間という長い長い同期会でしたが、残すところ数分...
次は、二次会会場への移動、いつもながら12時間やらないと片がつかないのが同期会なのです。

2002年〇月〇日 野球部OB会 11回生 K.K
野球部 OBが5期生久保博光元監督を中心に集いました。
10期:3名(S,O,I) 11期:(N) 12期:(Y,W,K) 13期:(K,M) が1年ぶりに集いました。
今回は、茨城放送でご活躍のI氏が初めて集い、40年ぶりに旧交を暖めることが出来ました。話題は、S32年7月早実との3試合の話(投手との対戦など)、あつという間の2時間半でした。結論はいかに石神井高校を強くしようかとのことでも熱っぽい議論をしました。来年も皆元気に集うことを誓い合いました。
追伸:今年は、神宮球場で開幕試合になったことも、大きな励みになりました。
2003年〇月〇日 14回生2Eクラス会出席者の抜粋

HW
当時のあこがれの的のきれいな彼女にあえました。これからもきれいでいてください!!
皆さん、私はこれから15年は働かなくて...よろしくお願ひします。
Y.S(旧姓 W)
元気な皆さんにお会いできて嬉しかったです。
学生時代には、想像もつかない様なそれぞれすてきな人生を歩んでこられたこと、話し合えるのは楽しいですネ。げんきで、またお目にかかりたいですネ。

SE
今日は、思い切って出席してよかったです。正直、皆さんのお名前と顔が一致する人は2~3人で、S氏でさえ顔見た時はわからず、声でわかった次第です。(いつも連絡有難うございます)これからもよろしくお願ひします。
2003年〇月〇日 第11回校歌際参加後の反省会
27回生 N.K
校歌際、みんなの前でうたえて、たのしかったヨ!
みな様、また歌おうネ、気持ちよいヨ!
もっとたくさんの方が参加してくれればいいな。でも、セッティングして下さるみな様、本当にご苦労様、ありがとうございます。

20回生 K.T
日比谷高校での校歌際の帰ります。来年は、応援歌をもっとうたいましょう。
中2回生 H.Y
日比谷公会堂改修工事のため、本年は日比谷高校同窓会館星陵会館において、開催された。
高校OB、現役吹奏楽部の協力を得て無事、3曲(応援歌、旧制中学校校歌、現校歌)の校歌際参加各学校の聴衆の中での発表で、拍手を得て、来年にまた努力の結果をだすべき方策を、皆で討議したことが有意義であったと思います。
2003年〇月〇日 13期 E.T
本日、アルゼンチンの大ギターリスト(アルゼンチンの国宝)と一緒に食事会。ファンホードミンゲスと3人の仲間。歌い手パネッサキオスと...素晴らしいコンサートに变身。現代最高級のマリアエステルグスマン(スペインのギターリスト)の参上!二大巨匠の公演。また、是非この会を再演、あおしまさまに感謝!!

石神井倶楽部の姉妹店が水道橋駅近くにオープン
店名『霜月好日』(Shimotuki-Koujitu)
☎03-3512-5800 土日祭日も営業 P有 店長澤(予約相談)
場所 アイガーデンテラス2F・(800ホテルエドモント新館側)
料理 和洋食 石神井料理・パチ(コース ¥3600-6000)各種
営業時間 11:30~22:00 電話予約644・カウンター8108 景観良好
アクセス JR水道橋駅より徒歩1分車・都営地下鉄有楽町線25分・都営1-15C
女性好みの店 ☆ジリ・ワイン・カクテル・韓国日本酒・ビール・焼酎と楽しめるデザートも手作りです。(ハッピーバースデーケーキも好評)
同期会・クラス会・結婚披露宴等独自の企画で楽器を入れてガーデンを渡うのもお薦めです。
石神井生歓迎 仁駐 城 和裕

同期会・クラス会

二十七期生三年E組クラス会

卒業後二十九年たちましたが、男女二十三名も揃い新宿住友ビルの和食レストランで一次会開催したあと先生をお見送りしてからは、カラオケで盛り上がりました。(いつものコースです。)皆あまり昔と変わらぬ容姿ですよ。今回は大阪より福岡君と正木君も十数年振りに参加してくれ、盛り上がり華(?)を添えました。

二十七回 3年E組クラス会
平成16年度幹事 後藤 誠介



春日先生の短歌をご紹介

野中雄介 (高校十三回)

昨日は十三期生の十回目のゴルフコンペでした。五組という盛況でしたが、小生は一〇九も叩いて、下位に低迷していました。下記は春日先生宅を訪問した時のメモです。

昨年の暮れ、中野新橋の春日正文先生宅にお伺いしましたが、先生は今でもNHKのドイツ語講座とフランス語講座を受講し、ドイツ語の文献を原語でお読みになっていました。

すでに九〇歳を越えています。老いて尚、学問への探究心が盛んという羨ましいお姿でした。

短歌も毎日のようにお作りになっています。その中の数句をメモしてきました。

人生を卒業して尚 生き続く

大学院に学ぶに似て

少年期 胸躍らせし

未来小説 今現実遥か先行く

知りたしと 思う本能 老いてなお

失せざることを 自負として生く

花の名を 知らずに咲かせておりますと

笑う御仁と花談義する

「きずな」では同期会の開催告知や開催記事を募集しております。記事は毎年二月いっぱいぐらいに、編集(巻末記載)にお送りください。

第2回『黒菱山荘で恩師を囲む会』のご案内

期日 平成16年9月11日(土曜日)午後2時現地集合
9月12日(日曜日)午前10時現地解散

参加予定恩師

東 士先生、寺島政一先生、小山晃三先生

会費 同窓生5000円 山荘宿泊費、3食付

昨年より黒菱山荘で恩師を囲みながら旧交を温める集まりを始めました。

昨年は対岳館の丸山庄司氏にもご出席いただき、OB、OGの皆さんは年齢を忘れて天の川を眺め、星座を楽しみました。翌日も天候が良く、山荘の側のリフトを利用して八方池や唐松岳を目指す人もいて、それぞれ北アルプスの景観を堪能しました。

東先生の山荘開設の苦労話や丸山庄司氏の心のこもったお話を聞き、今後の山荘の活用について有益な話し合いとなりました。今年も初参加の方も遠慮なく、ご家族連れも歓迎致します。当日は車で山荘まで行けますが白馬駅からの参加もOKです。

詳しくは高校12期生、城 和裕

電話FAX 03-3367-1224

携帯090-3805-2632

27期集合!

27期プレ同期会開催。

来年、卒業30周年を迎える27期生のあなた、今年と同窓会に集まりませんか?

別に特別なプログラムは用意してありませんが、久しぶりに母校に集まり、高校時代に戻り、ワイワイガヤガヤおしゃべりしませんか?

みなさまぜひぜひお誘い合わせの上、ご参加下さい。

なお、自分が何期生かわからないあなた、二十七期生とは昭和三十一年、三十二年生まれのあなたですよ!

呼びかけ人

小野木砂江 石井(榊)洋子

新田春彦 板谷方彦 小林紀子

36期生同期会開催!

6/26同窓会懇親会当日に、36期生同期会を予定しています。同期生の皆さんにはご案内を郵送しましたが、当日校内教室にお集まりいただきますので、ご参加ください。

ご連絡先 36th@shakujii-club.gr.jp

活躍される

OBのご紹介

※同級生をはじめ、いろいろな方々からご紹介いただいたOBの方々をご紹介します。

※活躍されているOB・OGの情報を募集しております！

番組名：ニッポン放送「うえやなぎまさひこのサブライズ」

放送時間：毎週月曜日～金曜日八時三十分から十一時

四月二十日（火）『九時のいい話』

上柳アナ 四月二十日、火曜日。時計は九時をまわりまし

た。八時三十分からお送りしているニッポン放送「うえやなぎ まさひこのサブライズ」『親子で紡ぐ 夢・感動』・・・今日、父親の夢を受け継ぎ、その夢を見事に咲かせたパン屋さんのお話です。

JR中央線西荻窪駅の南口から歩いて二分、そこに「リストオル・ミツ」というパン屋さんがあります。ご主人の廣瀬満雄さんは昭和二十六年、高円寺の『九十(まるじゅう)パン店』の三男として生まれました。満雄さんが小学校三年生のとき、子どもたちの憧れの雑誌が出ました。「少年マガジン」と「少年サンデー」はじめての子供向け漫画週刊誌です。「あれを買ってほしい」という満雄さんに、父親の七男(しちお)さんは言いました。

父 「お前を雨露(あめつゆ)のしのげる家に置き、ご飯を食わせ、学校に行かせてやってくれるのが、どうしてお前の漫画を買わなくちゃならないんだ？」

父 しょんぼりする息子に、父は条件を出しました。「お得意様をまわって、食パンを二十斤(きん)売ってきたら、四十円やる」

父 四十円・・・それはちょうど、漫画週刊誌一冊の値段です。月、水、金と週三日、食パンと牛乳を夢中で売り歩いた満雄さん。

子 「毎度ありがとございます。九十(まるじゅう)パン店でございませう。今日のパンの御用、いかがでしょうか？」

父 ある日満雄さんは食パンを二斤(きん)だけ売り残して帰ってきました。父はその息子を、決して家に入れてくれませんでした。

父 「今から、頭を下げて、このパンを売って来い！」日はとつぷりと暮れています。満雄さんは「イヤだ」と言いました。

父 「イヤだと？お前はパン屋に生まれ、パンのおかげで大きくなったんだ。そのパンのために、頭を下げられないのか？早く行って来い。土下座しても売って来い！」

父 売れ残りの二斤(きん)のパンを抱え、泣きながら暗い夜道を出かけた満雄さんは、屋間留守だったお得意さんをもう一度尋ね、それを買ってもらいました。実はそのお得意先には父親から電話が入っていた

たんだぞうです。

父 「今から、うちのバカ息子がパンを持つてうかがいます。お願いです！買い取っていただけませんか・・・」

「親の心、子知らず」といいます。いつも厳しく、パンへの愛情と商売の大変さを教えたもうとする父親に、息子は当然のことながら反抗的になり、次々と問題を起こす少年になりました。

大学を出た満雄さんがアメリカで新しい合理的な経営学を学んで帰ってきたとき、父と息子の対立は決定的なものになりました。古臭い職人の意地を通して、手間ヒマがかかり儲けの薄い無添加パンを、頑固に焼き続けているバカのバカの大バカに見えんぞ！満雄さんはついに、家を飛び出しました。二十八歳のときでした。それから十数年、様々な職業で苦労を重ねた末に、満雄さんがたどり着いたものはやっぱり、パン屋・・・しかも、父と同じ無添加パンを焼くことでした。父の七男(しちお)さんはすでに、アルツハイマー病に侵(お)かされ、喜びを感じることもできない体になっていたのです。

上柳アナ 西荻窪に「リストオル・ミツ」を開店して十年、

自家栽培の自然酵母だけを使い、最高級の材料で焼いた無添加パンは、今や、西荻名物の一つと歌われるようになりました。今年二月、開店十周年を記念して募ったお客様からのアンケートに綴られた言葉、その中の一つに、こんなメッセージがありました。「私は、このパンによって生かされています。ありがとうございます。七百通も寄せられた言葉の一つ一つにあふれる涙、満雄さんは思いました。これは、お客様がくださったボクの通信簿だ。満雄さんはたった一度だけ、父親に通信簿を褒められたことを思い出しました。

生まれ故郷、山梨の塩山市(えんざんし)で眠る父親。満雄さんは、その墓石に、お客様からもらった通信簿を、ビニール袋で大切に包み、両面テープでしっかりと留め胸の中で呼びかけました。「おやし、あの時みたいに、よくがんばったなああって褒めてくれよ」

ニッポン放送製作部及び、廣瀬満雄さんのご了解をいただき、掲載させていただきました。後日、廣瀬さんにお会いしてお話を伺いましたが、放送当日は、朝早くから、焼きたてのパンを自ら、ニッポン放送に届けたと

のこと。(放送中にも廣瀬さんがパンをもつて来て下さってる・・・とのコメントありました)暖かなお人柄を感じました。そして、廣瀬さんの作る無添加パン。独特の香りともつちとした食感で本当に美味しかったです。

取材担当：勝見鈴代 副会長二〇回

テレビで見つけた石神井OB 石川英輔さん(高四回)

本年四月より、NHK総合TV毎週木曜日午後八時「道中でござる」の常連として番組の後半で和服で出演者に囲まれ、江戸庶民生活の蘊蓄を披露しています(愛称エイちゃん)

石川英輔さんのプロフィール
都立大理学部卒、作家。江戸時代の庶民文化を特分野として、講談社より著書多数あり。



石川英輔



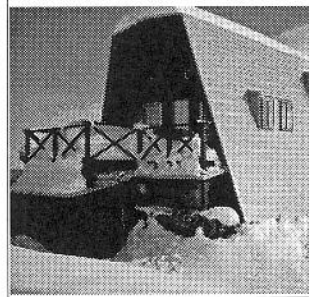
廣瀬さんのホームページ

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~mutenkap/>

~mutenkap/

※このホームページから 廣瀬さんのいろいろなページにリンクしています。

黒菱山荘 委員会から



黒菱山荘委員会便り

同窓会副会長・黒菱山荘委員会委員長

浦川 伸一（高校三十二回）

今年、いよいよ石神井高校校舎の立て替え工事が始まります。この校舎で学んだ卒業生の一人として、今後の母校の発展につながるうれしい出来事だと感じています。一方、現役時代を過ごした懐かしい校舎がなくなってしまうことに一抹の寂しさも感じています。

当委員会が維持運営を担当しております長野県白馬村の黒菱山荘も、一昨年に屋根のリニューアルを行い、大変快適な施設となりました。こちらは、建物の構造自体には一切手をつけず、屋根を中心としたリニューアルでしたので、四十三年前の新築当時と変わらないうまま建物の維持ができたのではないかと考えています。

この一年間、宿泊者は現役生、父母と教師の会の方々、恩師の方々、そして同窓生らに延べ二百泊程度の利用をいただきました。近年の特徴は、冬季の利用よりも春夏秋の利用が増えている点です。従来スキーシーズンの利用が圧倒的だったのですが、昨今のスキー・スノーボーイ人口の低迷の影響か、十二月～三月の利用がかなり減少しました。八方尾根スキー場のど真ん中という、他の施設に例を見ない好立地条件を考えると実にもったいないと思います。

都立高校の校外施設が次第に姿を消す中、当校の施設が維持されていることは、この時代においては大変貴重なことだと感じしております。この背景には、学校、父母と教師の会、同窓会のご理解があればこそ考えますが、それ以上に感謝の念に絶えないのが、白馬村の地元の方々の厚いお心遣いであることを忘れてはなりません。

例えば、東京の人でも「石神井」という漢字を正しく発音できない方や、書くことができない方にたまに書くことはありませんか。白馬村ではスノーボーイや役場で領収書を書いていただく時でも、「しゃくじい（こうじい）」と言うだけできちんと「石神井」と書いていただけるぐらいの知名度があります。都立高校でこれだけ認知いただいていることは、感動的でもありません。

歳を重ねていきますと、次第に人と人のつながり、いわゆる「きずな」の大切さを強く感じます。現在、会社勤めなさっている方々、家庭に入られている方々、学生生活を送っている方々などさまざまな環境の同窓生の皆さんがいらつしやるかと存じます。そういった環境の中で、出身高校をベースとした「きずな」を今一度思い出し、この黒菱山荘を一つのきっかけとして石神井を思い出してみるのがいいのではないかと、思います。

この小屋は、いつでも皆さんをお待ちしております。



山荘委員会ホームページ
http://pws.prserv.net/
jpinet.urakawa/
(アドレスが変わりました)
利用規約などを掲載しています。

黒菱山荘基金について ご報告

城 和裕 (高校12回)

今回は山荘の厨房の壁、床下の防虫駆除工事等の追加工事があり、会長の承認を戴いて、20万円を基金より引き出し、同窓会本会計に繰り入れましたので現在の残高は

¥147,431円となっております事をご報告いたします。

なお、恩師の先生方からも多額のお振込みを戴き感謝申し上げます。引き続き同窓会生諸氏からのご協力をお願い致します。お振込みは下記の郵便振替口座をお願いします。

黒菱山荘基金

0-0150-3-129748

お振込みの時は、卒業年度、旧姓、連絡電話番号もお書き添え下さい。基金ご協力者の名簿は石神井高校同窓会ホームページに掲載しております。

2004年夏 第6回黒菱山荘ツアー参加者募集のご案内

恒例となりました山荘ツアーを本年も下記の通り計画いたしましたので、同期生、家族、ご夫婦、一人旅など多数ご参加下さい。快適になった山荘生活を体験してください。星空鑑賞もできます。健脚の方は海拔2696メートルの唐松岳登山に挑戦して下さい。

1. 出発日 7/17(土)～19(海の記念日・月)＜2泊3日＞
2. 行程

1日目	現地集合-白馬駅前(12:00)-黒菱山荘泊
	※電車利用の方は新宿発08:00 JR特急スーパーあずさ3号
2日目	山荘-八方池-唐松岳-山荘-白馬村ペンション泊
3日目	ペンション-散策-白馬駅-解散
3. 会費 17,000円(交通費除く)
(山荘・ペンション宿泊費、食費、ロープウェイを含む)
4. 主な見どころ
石神井ケルン、八方池、唐松岳、白馬三山、姫川源流、高山植物、星空などなど
5. 催行人員 20名

旅行条件

- A. 山歩きの装備でご参加下さい。
特に山に行かれる方ははきなれた登山靴、帽子、着替え、洗面具、常備薬、防寒着など
- B. 山荘滞在中は、掃除、食事作り、共同・団体行動となりますのでご理解ご協力をお願いします。
- C. 部屋割りには幹事にお任せ願います。
- D. 集合場所、時間、行程表などはお申し込み後、詳しくご案内します。
- E. 今回、JR利用の方は原則、各自にて特急券など購入願います。1ヶ月前に発売されます。
- F. 参加申し込みは6月末日までに。

お申し込み//お問合せ

176-0002 練馬区桜台4-11-2 高橋一夫 (高20回)
メール dennsha007@hotmail.com Fax03-3991-3586
お断わり：今回でこの企画は終了します。参加いただきました方々に御礼申し上げます。以上

三浦雄一郎氏来る!!

「世界のプロスキーヤー三浦雄一郎さん」が同窓会懇親会に来て下さいます。!!!

本校は、八方尾根に黒菱山荘を持っています。

その黒菱山荘は、45年前に長野県白馬村の老舗旅館「対岳館」のご主人丸山与兵衛のご協力で建てられた山荘です。

春はトレッキング、冬はスキーと、先輩の指導で多くの在校生が山の素晴らしさを学びました。丸山庄司さんは、長野オリンピックの立役者として、また現在も日本スキー連盟の専務理事としてご活躍中です。三浦雄一郎さんとは大変親しい間柄で、今回の講演会も、丸山さんのご尽力で実現しました。

平成17年には校舎の建替えて、体育館等を使ったこのような講演会は、約2年間できなくなります。自由、闊達な我が校の校風ももっと多くの人達に知っていただきたい・そんな願いをこめて講演会を企画しました。

学校、父母と教師の会、自治会、近郊の小、中学校、他都立高校同窓会等、多くの皆さんをお誘いしたいと考えています。

黒菱山荘は、同窓会を中心に、山岳部OBや、山荘委員会そして、白馬村の丸山さん、16回の同白馬村で、ペンションスカラを経営する石田さん等など、沢山の人が力を合わせて守り続けています。

スキーヤーとして、また、登山家としても、沢山の多くの記録を残しておられる三浦雄一郎さんのお話を是非、一緒に!

講演会、懇親会は下記の通りです。

講演会：6月26日(土)15時～16時30分(14時30分開場) 会場：体育館です。

講演の他に、三浦さんのプロモーションビデオや、丸山さんのお話、石吹による吹奏楽演奏等を予定しています。

同窓会懇親会：6月26日(土)16時30分～18時30分 会場：多目的ホール(時間が許す限り三浦さん、丸山さんも懇親会に出席予定です)

※各学年幹事より、別途ご案内があると思いますので、是非ご参加ください。もちろんご家族、お友達もお誘いください。また、当日、受付、会場設営、片付けなどなど、お手伝いしていただける方は、勝見まで連絡してください。

090-2307-7710 メール：suzuyo@vin-mousseux.com



1932年青森市に生まれる。1964年イタリヤ・キロメートルランセに日本人として初めて参加、時速172.084キロの当時の世界新記録樹立。1966年富士山直滑降。1970年エベレスト・サウスコル8,000m世界最高地点スキー滑降(ギネスブック掲載)を成し遂げ、その記録映画「THE MAN WHO SKIED DOWN EVEREST」はアカデミー賞を受賞。1985年世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成。2003年次男(豪太)とともにエベレスト登頂、世界最高年齢登頂記録(70歳)樹立。アドベンチャー・スキーヤーとしてだけでなく、行動する知性人として国際的に活躍中。記録映画、写真集、著書多数。

マナスルカラーの黒菱山荘とケルン

丸山庄司

八方尾根の中にある建物で、もともと自然に溶け込んでいるのが石神井高校黒菱山荘だと思っている。屋根の面積を多くした、特徴ある設計で、更に屋根の黄色が周囲にマッチしている。黄色にしたいきさつを山岳部OBの石田弘行さん(白馬村在住)に聞くと、当時、テントや防寒服など黄色が流行し、「マナスルカラー」として、親しまれていたとのことであった。それは一九五六年日本山岳会がヒマラヤのマナスルに初登頂の快挙を成し遂げ日本中が沸いた、その時のテントなど装備すべて黄色に統一、「マナスルカラー」の名がつけられた。ちなみに、黒菱山荘が完成したのは一九六〇年四月頃のことである。また、八方尾根には石神井ケルンが建立されている。はい松や高山植物だけで、大きな樹木のない八方尾根に、石を積み上げたケルンは、ハイカーや登山者のよき道しるべとなっている。また白馬連峰をバックに写真スポットとして親しまれ、その役目を果たしている。リフト終点から歩いて三〇分、八方三角点の横で展望もよく、適地を選んだものだと思いつながら、建立にご苦労された皆さんを想い感謝している。

黒菱山荘周辺には豊富な山菜がある。特に五月の残雪の間に顔を出す、「ふきのとう」。白馬では「ちゃんめろ」といい、その「ふき味噌」作りも楽しく、私は毎年大量に造ってお土産にしたりしている。ま

た、山麓には「塩の道」といわれる古道があり、古い文化が沢山残っている。

白馬は、スキーと登山だけにとらえられがちだが、そうではない。四季折々の中で新しい発見や、体験ができる。地球温暖化など「環境」の文字の意味は深く重いものになった。都会の利便性の中だけで快適を求めるとは、もっと自然の中にひたつた生活体験が大切だと思う。

黒菱山荘の宿泊と周辺の観察など、都会にない体験と新しい発見があるはずである。

今後も学校、PTA、同窓会の皆さんに利用してほしいと願っている。白馬も温泉が湧き出し、我が家、対岳館でも温泉に入れるようになった。風呂のない山荘の帰りは、温泉で汗を流して帰ってほしいと願っている。石神井関係者は「ご自由にどうぞ」としている。現地の山荘管理人とはいえず、ただ「鍵」を預かっているにすぎない。石神井高校と我が家の長い付き合いの中で、せめてその位は私にも手伝わしてほしい。

同窓会の皆さん、熱意に感謝すると共に、益々のご発展を祈りながら。

丸山庄司さんのプロフィール

全日本スキー連盟専務理事として、日本のスキー界を指導されています。黒菱山荘の建設にご尽力いただいた故・丸山与兵衛氏のご子息で、白馬でホテル「対岳館」を経営。御尊父の代から石神井高校に多くのご援助を頂いています。



白馬の有名スポット・石神井ケルン

校歌祭に参加しよう！



東京校歌祭は、東京都内の高校が集い自校の校歌を披露するイベントです。東京都の後援を受け、例年日比谷公会堂で開催され、旧制中学以来の伝統校を中心に20校以上が参加する大きな催しとなりました。本校同窓会は旧制府立14中・石神井高等学校として第4回より参加しています。(昨年11回は日比谷公会堂改修のため、日比谷高校で開催)

10月2日(土)日比谷公会堂で13:30から開催されます。

都内有力高校と肩を並べ、堂々と我が「石神井高校」の校歌・応援歌を歌おう！

入場無料。石神井高校OBプラスバンド・石吹の演奏有り。

当日の集合場所：日比谷公会堂正面入り口(石神井高校の旗が目標)

集合日時：10月2日(土) 13:30

出番までの時間に練習しますので、奮ってご参加ください

主な出場校 日比谷、立川、西、小山台、新宿、九段、小石川、戸山、一商、千歳、両国など約20校が参加します。



平成8年11月5日毎日新聞東京版朝刊



これまでの校歌祭。第4回は毎日新聞朝刊に本校の写真が掲載されました。また吹奏楽部OB・一昨年は現役応援団の参加など、ますます活動は盛んになってきました。

混声合唱団を作いませんか？

東京校歌祭は、もともとが旧制高校の寮歌祭から派生的に生まれたもので、本来は男子だけの旧制中学の校歌がメインでした。だから応援団が出演したり和太鼓に羽織袴姿の方が目につくのですが、旧制中学の伝統を持たない学校の参加もあり、女性の参加も増えています。またなによりも石神井高校の校歌は立派な混声合唱に編曲されているのですが、どうしても女声のボリュームが不足気味です。他校は百人近い大合唱を披露するところもあり、それでさえも石神井は押され気味です。

しかし、以前から石神井は音楽活動も大変盛んで、音大に進む卒業生も多く、同窓生の中には合唱をしている方も多いはず。そこで、校歌祭のために集う混声合唱団を募りたいと思います。特に、女声の参加を強く求めます。ママさんコーラス、パパさんコーラスの経験者だけでなく、ご希望の方はぜひ参加して下さい。プラスバンドの生演奏で歌うことは、なかなか快感ですよ！

ご希望の方は、小林紀子(高27回) 電話03-3399-3603までお問い合わせください。

日程などをお送りいたします。メールの方は、amjack@shakujii-club.gr.jpまで。

石神井想いの出の校舎

現在の校舎は、来年に取り壊されます。
同窓会で見られるのは今年のうちです！



1 段目左上:
校舎南側上空約300mより
(1999撮影)



1 段目右: C棟廊下
2 段目左: 玄関 2002撮影
2 段目中央:
1 階廊下北方向を望む
3 段目左: 3階普通教室
3 段目右: B棟1階昇降口
4 段目左: A・B棟間渡り廊下
4 段目右: A棟3階ホール
※指定外は2004年5月撮影
空撮以外は小型カメラで撮影



石神井 56 期にわたる同窓生のなかで、20 期前後以降の方々の思い出に残るのが現在の校舎だと思えます。来年には取り壊しが決まった校舎は、今見るとずいぶんと煤けていますが、その中に思い出の一コマを見つける同窓生もおおひさず。今年あまり写真をとられないことがない校舎の中の写真を並べてみました。

2003年同窓会 この一年



2003年もいろいろ楽しい催しがありました。
2004年は、もっと多くの仲間が集まれるよう
にがんばりましょう！

同窓会誌「きずな」第53号 平成16年5月発行
 発行人 同窓会長 林 弘
 発行所 都立石神井高校同窓会
 東京都練馬区関町北4-32-48
 印刷所 株式会社文明社 東京都新宿区榎町79番
 Tel 03-3203-6617

今年の編集スタッフ

板谷方彦 (27回) 高橋一夫 (20回)
 勝見鈴代 (別所) (20回)
 写真提供: 道家正昭 (21期)
 校正お手伝い: 森 雅夫 (8回) 日高由紀子 (28回)

ご連絡先 E-mail amjack@shakujii-club.gr.jp
 また、石神井倶楽部
 〒1640002 中野区上高田1-14-7 青島本部内
 Tel/fax 03-3319-1122

※高校にご連絡されると、担当が居りませんので、上記にご連絡ください。



石神井同窓会のホームページは、単に情報を発信するだけでなく、クラブ別、期別の会議室や、会員の住所変更の受付機能など多彩なページを持って、楽しまれています。まだごらんになったことのない方は、ぜひアクセスしてみてください。

<http://www.shakujii-club.gr.jp>

※6/26 までにもニュースを更新しますので、ぜひチェックしてください。